

■インド：ソフトバンク、ソーラーパーク（25万kW分）を4.5円で落札

2018年5月10日付の報道によると、アンドラプラデシュ州 Ananthapuram のソーラーパーク（計75万kW）について、発電所の運営事業者を決定するための競争入札が行われた。

11社から応札があり、Sprng Energy（英国の投資会社 Actis の再エネ子会社）、Ayana Renewable Power（英国政府系の金融機関 CDC の出資会社）、SB Energy（ソフトバンク、台湾フォックスコン、印バーティによる合弁会社）の3社が落札した。落札価格は、Sprng Energy は2.72ルピー/kWh（約4.5円）、残りの2社は2.73ルピー/kWhで、それぞれ25万kWが割り当てられた。発電した電気は、国営発電公社 NTPC に売電する。報道では、NTPC は財務状況がよく支払い遅延リスクが小さいことから、州配電会社をオフテイカーとするソーラーパークの競争入札と比べて、参加事業者数が増え、価格が引き下げられたと指摘している。